

大泉高校新聞

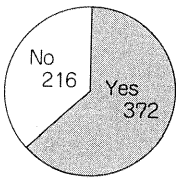
【発行所】馬区
東京都練馬区大泉
東大立校高等
新聞委員会
新電(3924)0318
【発行責任者】
幸子 5崎

怒濤の缶・ゴミ。 アップルマート大特集

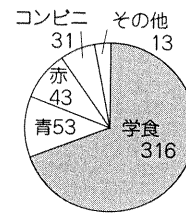
飲み物アンケート結果より

ゴミのあふれる大泉高校の緊急事態に、去る四月より施行された缶持ち込禁止令。果たしてその効果は？生徒らの反応は？その事実を知るため、まず大泉高校生にアンケートをとってみた。

Q1. 昼食の時など学校にいますか？



(回答五七八)

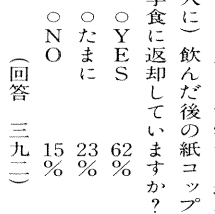


(回答 四五六)

●やはり近場ということもあり、学食が全体の4分の3を占めている。次に缶持ち込み禁止令が出たものの、気のよいおじちゃん、おばちゃん、好意の青線、種類の豊富な赤線が続く。

●学食・紙パック派の人、上まわっているようである。その学食・紙パック派の人に次のようなことを聞いてみた。

Q3. (Q2で学食を選んだ人) 飲んだ後の紙コップは、学食に返却していますか？



(回答 三九二)

●YESの人が大半ではあるが、たまにであったり、返却しない人も目立つ。廊下の缶のゴミがいつしよに入

●YESの人が大半ではあるが、たまにであったり、返却しない人も目立つ。廊下の缶のゴミがいつしよに入

●YESの人が大半ではあるが、たまにであったり、返却しない人も目立つ。廊下の缶のゴミがいつしよに入

「ゴミは減っているのか？」
以上のような結果が出たが、実際にゴミ(主に缶)の量は減ったのだろうか。そこを知らするために、事務・主事の方に伺った話によると、可燃ゴミは、学校の焼却炉などで燃やすなどして減らしているが、缶のゴミについては、増えるでも減るでもなく変わらないということである。

●毎日というフリークもいるが、お弁当がないときや、部活のあるときのみという特定条件のある人などが割と目立った。

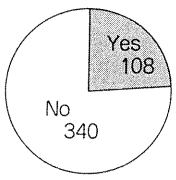
Q7. ⑦の出現による何か影響はありますか？

●今年四月より、突如として大泉高近くの踏切前に現れたコンビニエンスストア・アップルマート。明らかに、近場にコンビニのない大泉高校生をターゲットに出来るなどの格好の立地条件のもとに、また買った金額により、キムタクポスターやPHSがもらえる等々、なかなか上手いことをやっているようだが、これについて大泉高生はどう思っているのか。また、以前より我が高校の食の要となってきた青・赤線への影響などを知るべく、大泉高生にその辺りの意識などを聞いてみた。

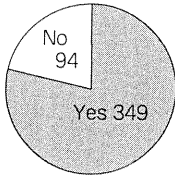
Q5. アップルマート(以下⑦)に行ったことがありますか。

●解答によると、四人に一人は禁止されているはずの缶を持ち込んでいる。その内、学食が開く前の授業の後など、まれに買うような場合の方が、固定している缶フリークより多いことだろうが、缶ゴミの主となっているのは、後者であろう。事務所の方いわく、学校で買ったわけではなく、学校で捨てるからゴミが増える。ゴミは、それを買った所まで捨てに行き、欲しいくらいである。それほど、せつばつまっているのである。

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分



(回答 四四八)



(回答 四四三)

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

●七、八割の人が、行ったことがある、ということだが、このアンケートをとって、多分

放送小委員会では、各クラスの委員に依頼して、リクエと委員を、どっちをとるんだ？なんていう馬鹿げたことをおしやっつた先生もいる。そうだが、

先生方の中にもそういう人がいらっしやるらしく、「部活と委員会、どっちをとるんだ？」なんていう馬鹿げたことをおしやっつた先生もいる。そうだが、

先生方の中にもそういう人がいらっしやるらしく、「部活と委員会、どっちをとるんだ？」なんていう馬鹿げたことをおしやっつた先生もいる。そうだが、

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

部活動と委員会

一年生部活入部状況

四月の一斉部会の日から2カ月近くたった六月の半ばに、今年度の部活動の入部状況の調査が行われた。

その中で一年生の各部活への入り具合を表してみた。（兼部している人は主に自分が活動している部活を書いてもらったものなので、実際とは多少異なる。）

表より去年と今年で、一年生の生徒数に占める入部部員数の割合を調べてみた。

平成八年度	二八一人
生徒数	二六四人
部員数	九四％

今年度は去年より一％増だ。そしてほとんどの人が放課後、部活動に励んでいるようだ。

次に文化系、運動系別にみる。

一年大泉高校に入って

僕が、この大泉高校に入學してから3ヶ月が立とうとしている。先生方の名前や教室の配置など、また理解していないところも多々あるが、少なくとも「大泉」の校風だけはこの2ヶ月間で何とか理解できたようだ。その「理解できた」大泉高校の校風を一口に言ってみればみんなとて「リラックス」しているというところになるだろう。

中学時代のガチガチの拘束から解放された喜びからか、みんな表情がとても生き生きとしている。そして、学校自体が学校と思えないほど感じやすい開放感である。先生

文化系の運動系に対する割合は、今年二〇％、去年二一％。これをおとしの三七％と比較すると停滞気味のことが分かる。人数が少ないのは同じだが去年よりは、色んな部に散らばっているともいえる。また、吹奏楽や軽音など音楽に関するものに人気が高い。その一方、入部者が少なくて廃部の恐れのある部活もある。しかし毎年二、三学期になると徐々に入部する人が増えてくることも多いので希望がもてるかもしれない。

運動系の方は、例年通り安定した人数のところが多いので、部長さんもひと安心といったところでしょうか。他には、サッカー、硬式テニスに毎年人気があるといえそうだが、全体を通して、やはり部活動が盛んだと思った。今後も大会・文化祭等で活躍する場面がみられるだろう。（D）

一年生の文化系・運動系の入部者数 調べは6月中旬

—は休部または活動報告書に入っていない。硬式テニスは男女一緒。

部・同行人会	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
(文)家政	4	1	4	6
(文)写真	3	9	0	1
(文)華道	0	0	—	—
(文)華道	1	2	0	0
(文)物理	3	5	0	2
(文)生物	0	1	0	0
(文)吹奏	22	22	31	13
(文)美術	7	0	6	3
(文)将棋	0	2	3	0
(文)演劇	0	1	0	—
(文)化学	3	4	0	0
(文)茶道	5	8	1	0
(文)天文	2	8	6	2
(文)合唱	10	7	1	0
(文)フォークソング	5	10	0	3
(文)文芸	—	5	0	2
(文)英語	—	20	0	3
(運)剣道	15	7	6	6
(運)山岳	0	1	1	0
(運)サッカー	29	24	38	29
(運)柔道	0	2	1	5
(運)卓球	2	1	4	2

部・同行人会	平成5年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度
(運)ダンス	30	22	17	17
(運)体操	5	1	4	4
(運)男子ソフトテニス	10	10	4	13
(運)女子ソフトテニス	5	7	9	11
(運)男子バレーボール	9	9	3	9
(運)女子バレーボール	8	4	11	5
(運)野球	14	16	18	13
(運)ラグビー	19	7	21	5
(運)陸上	7	3	7	5
(運)男子バスケット	23	11	14	11
(運)女子バスケット	9	14	10	16
(運)バドミントン	19	19	17	19
(運)硬式テニス	35	21	53	35
(運)水泳	18	13	11	11
(運)漕艇	9	5	8	4
(運)ハンドボール	0	11	—	0
(文)軽音	10	5	—	8
(文)鉄道研究	2	4	0	—
(文)漫画研究	3	4	1	1
(文)書道	0	0	—	—
文化系の総計	76	118	53	44
運動系の総計	261	198	256	220

九月の行事

九月

- 二日 始業式・大掃除
- 十日 第二会模試(三年)
- 十三日 文化祭準備
- 十四日 文化祭
- 十五日 敬老の日・文化祭
- 十六日 休日
- 十七日 振替休業日
- 十八日 大掃除
- 十九日 球技大会
- 二十日 球技大会
- 二十一日 振替休業日
- 二十二日 秋分の日
- 三十日 模試採点報告



体育祭



去る5月9日、体育祭は決行された。当日の雨の多い雨でどうなるかと心配されたが、翌日に延期され、2時間ほどおくれたものの、無事終了した。結果は次の通り。

優勝 白組
準優勝 赤組
前日とはかわり、晴天の中で行われた今年の体育祭。気持ちよく参加した人が多いことと思う。しかし、うらでど

れほどの人の努力と汗と涙があったか、知っている人は少ないのではないだろうか。というわけで、ここでは体育祭を支えた裏方さんたちに注目してみることにした。

体育祭の裏方といっても、思いつくのが体育祭実行委員会である。今年の、あのユニークな競技を考案し、それに必要な道具を作るのである。当日、2時間おくれればじまっても、たいした混乱なくプログラムが遂行されたのもこの人達のおかげである。

そして放送委員会。ムードをおおいに盛り上げてくれた競技中の音楽も、CDを探して編集するといった大変な作業の上に成り立っている。プログラムのアナウンスもこ

美術部部長の話

応援総団長の話

僕が入学式で初めて応援団を見た時の感想は「あやしい団体だな」でした。その時はまさか二年後に自分が壇上でやっているとは思っていませんでした。

僕が応援団に入った理由は、ジャンケンに負けたからです。しかし厳しい練習を経て体育祭が終わる頃には、委員会の義務ではなく応援団の楽しさにはまってやっていました。

僕が総団長になったのは去年の五月頃でした。その時はとてもうれしかったのですが、だんだん体育祭が近づくにつれて「本当に僕で動けるのだろうか」という不安が高まり、応援団の事を考えると眠れなくなることもありました。

今年から紅白二色になるといふことで、今までやってきた事を新たに直したり、昨年とはまったく勝手が違うこともありいろいろ大変なこともありました。しかし、今振り返ってみるとこれだけ一生懸命に何かに取り組んだことは今までに一度もありませんでした。そしてこんなに感動したことも初めてでした。

僕が応援団を通じて得た、多くの友達や先輩後輩、そしてみんなで分かち合った経験や思い出は、僕の人生の中で最も価値のある財産だと思っています。



マスケット委員長の話

今年のマスケットは例の足場を導入し、それを組み立てたり、業者の人からその説明を聞いたりと、今までにない作業が入り時間的にとても大変でした。

僕はマスケットを作るのは初めてではありませんが、作業のよくわからない所が多々あり、さらに事前計画等にもミスが多く、まわりの人に迷惑をかけてしまいました（反省しています）。それでもなんとか土台をつくり、足場を組み立て形になっていきました。

しかし新聞をはっていった時に雨が降られて、はっている途中の新聞紙がすべてはがれてしまいました。4日も作業がおくれまして、9日の体育祭に間にあいませんでしたが、その日は雨。シートをかけて雨をふせぎましたがふせぎきれず、オバQが半壊してしまいました。体育祭当日委員は六時に集まり修理をしましたが、結局完成は昨年と同じ開会式になってしまいました。

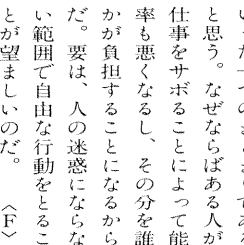
委員の皆さんとそのまわりの方々、そしてマスケットを認めてくれていた人々には本当に感謝しています。今回行ったアンケートの意見に基づいたアンケートの意見もあるも来年度はさらに進歩のあるものにしたいと思っています（今年の一年生が頑張ってくれと信じています）。

下の場を楽をとるか、後の楽をとるか、それは個人の自由でかまわない。が、個人の自由で済まない所が学校や社会と

いう一つのまとまりであると思う。なぜならばある人が仕事をサボることによって能率が悪くなるし、その分を誰かが負担することになるからだ。要は、人の迷惑にならない範囲で自由な行動をとることが望ましいのだ。（F）



「脳内革命」という本を読んだ。この本は二〇〇万部を超えるベストセラーで、偶然学校の図書館で見つけた。この本は、いかに私達が何気なく考えていることや行っていることが寿命を縮め、かつ自分に対して悪影響であるのかをわからせてくれる。この本によれば、物事をプラス思考で考えると、βエンドルフィンというホルモンが分泌されるという。このホルモンは若さを保ち、ガン細胞をやっつけ、人を楽しく気分をさせるという。つまり、病い気から、ということがある。何と、世のため人のためにならないことを、うらみをかうようなことをすると、脳は減んでゆくというのである。だから人のために尽くした人、例えばジュパイターやナイチンゲールは長生きするとある。身近なことでは、清掃や係活動、運動を、「しなくてはならない」のではなく、「ために」として考えることが良い、ということだ。しかし、今までサボってきた人には、そう考えることは容易ではないかもしれない。また、サボり続けるかもしれない。清掃や係活動の重要性に気づいている人は自ら進んでやっているので、気づいていない人に比べ、損をしているように見えて実は大変得をしていることになるのだ。その場の楽をとるか、後の楽をとるか、それは個人の自由でかまわない。が、個人の自由で済まない所が学校や社会と





橋口修承先生

大泉高校に赴任して
先日、丸善で神戸市長田区
の航空写真を見ました。昨年
の阪神大震災の後で殆どの屋
根が青いビニールシートで覆
われているなか、私の通った
長楽小学校の古い校舎を発見
し、暫し写真に見入っていま
した。戦前からの頑丈な建物
で、当時には防空のための真
黒に塗った跡が残っていました
。校庭には長いブランコが
あって、思い切り漕ぐと校舎
越しに高取山が見えたこと、
冬の朝「ええかつこして」凍
った池に落ちたこと、コッペ
パンと脱脂粉乳のまじり給食
色々な先生方のこと。若い頃
学校に通っていた頃の思い出
は不思議なまでに心に残り
安らぎと励ましを与えてくれ
過ぎ去った貴重な若い日々の
無為を惜しめるものはあり
ません。前任の都立国立高校
に続いて、伝統ある大泉高校
に務める機会に恵まれました
。皆さんの若い日の思い出の
一片になれるよう、早く大
泉高校に馴染んでいきたいと
思っています。



鈴木 基先生

自己紹介
教科は日本史と世界史を担
当しています。前任校は都立
の赤坂高校、その前初めて教
員になったのは水道橋の工芸
高校でした。生まれ育った江
戸川、墨田、江東は詳しいの
ですが、練馬区は全くといっ
てよい程土地勘がなく(レッ
ドアローに乗った事はあるの



小泉 力先生

自己紹介
彼「T.K.」とは長い付き合い
です。彼が簡単に紹介してみま
しょう。彼は所沢市に住んで
いて家族は5人です。いつも
朝6時半にセットしてあった
ラジオから流れる「新しい朝
が来た、希望の朝だ」で目が

新任教師紹介



数学科 上内 進先生

自己紹介
目下やりたいと思っている
のは、園のフィールドワーク
で、家内の実家の福井県小浜
という所に「太良の庄」とい
う昔ながらの荘園跡があり、
自転車で行ける所なので、夏
休みなどを利用していろいろ
調べて見たいと思っています
。今後共よろしく。



地歴科 横倉 純先生

自己紹介
長い間練馬区の住民ですが、
西武練馬線練馬より先にはあ
り来たことがありません。大
泉高校に赴任して二カ
月半たちましたが、自然環境
に恵まれた広々とした学校と
感じています。二年生の世界
史を担当していますが、素直
な気持ちのよい生徒が多いの
は嬉しい事です。欲を言えば、
より積極的に取り組んで下さ
い。たくさん質問を待って
います。



体育科 鎌田重行先生

私について
今年の四月一日をもって、

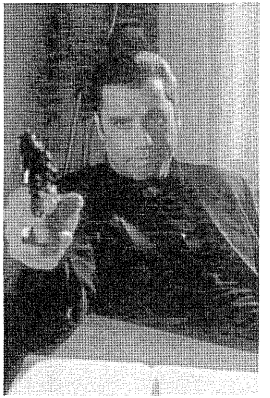
友人とは

「友人とは何か」というと
「そんなに深く考えなくていい
いいじゃないか。」
と言われるかもしれない。し
かし、深く考える必要が今、あ
るのだと思う。高校時代は一
生を通じてつき合える友人が
できるという。

涙のゲート物語

体育祭の入退場門を、文化
祭の入口に設置してある門。
この2つのゲートは毎年、体
育祭と文化祭にはなくてはな
らない物として、我々の祭を
華々しく飾ってきたわけなの
である。しかし、「何か印象が
悪い」と思っている人が多い
と思う。そう、なぜならこの
大泉高校にはマスコットとい
うあまりにも目立つ存在があ
るからである。いつもマスコ
ットの影にかくれ、その上、

映画紹介 『GET SHORTY』



面白い映画が勢いに公開さ
れる夏直前。読者に、より新
しい映画を紹介したいと思い、
遅い公開の映画を選んだ。6
月15日公開の『ゲット・ショ
ーティー』を紹介する。
「パルプフィクション」で
復活したジョージ・ロバ
ルタが主人公。また、映画を
あまり観ないような人でも一
度はその名を耳にしたことが
あるだろう。ジョージ・ハック
マンやダニー・デビットも出
演している。
実はこの『ゲット・ショ
ーティー』犯罪小説で有名な作
家、エルモア・レナードによ
って描かれた小説。全米ベス
トセラーになっているものが、
パリ・ルネ・フェルド監督
によって映画化されたもので
ある。脚色を担当したスコッ
ト・フランクスは、「小説が、す
べて映画的に描かれていたか
ら、面白かった」と述べてい
る。
「ゲット・ショ
ーティー」は、彼らの何と
もウィットに富んだ会話であ
る。息を吐かせぬ言葉のや
りとりは何とも目を見はるば
ら、ハイライトの部分を集め
て脚本にしたんだ。結局本
名場面集みたいになっちゃっ
たけど」と語る。ぜひとも、
原作の方も読んでみたい。
さて、その映画の内容はと
いって、取り立て屋のチリ、
B級映画監督のハリ、B級
映画女優のカレン、アカデ
ミー賞スターのマーティン、こ
の4人の上に、また何人かの
人間関係となる。そのため、
いきなり映画館へ行って観て
も、理解できないようなこと
になるであろう。あらかじめ、
この人間関係を簡単に知って
おくだけで映画の楽しさが倍
増すると思われる。
「ゲット・ショ
ーティー」を観て、暑さ
を吹き飛ばすほど笑ってほ
しい。
勉強にあげられるものよし、
部活に、恋に、忘れられない
夏にしてほしい。
(T)

新聞小委員大募集!

コラムを書きたい人も気軽にどうぞ。

STAFF

- 編集班
編集長 島崎 幸子
編集員 伊達 千賀
香野 美樹
富田 美穂
- 記者
一 栗本 美保子・A
二 小谷野いづみ・B
三 遠藤 裕子・E
四 石井 淳・I
五 石井 啓・L
六 藤田 行人・N
七 伊達 千賀・D
八 香野 美樹・K
九 富田 美穂・M
一〇 島崎 幸子・F
一一 佐藤 乃規・S
一二 長塚 敏弘・T
- 協力
三二 村上謙三久君
二五 中本重希さん
応援団長 高田 零君
美術部長 田所雪香さん
マスコット委員長
田沢慶明君
英語科 小泉 力先生
保健科 鎌田重行先生
数学科 上内 進先生
数学科 橋口修承先生
地歴科 横倉 純先生
英語科 瀬谷三郎先生
図書委員長 松岡大輔君
写真部
地歴科 山口宗雄先生
コロニー印刷

